

不完全燃焼警報ユニット

工事説明書

SG-35

工事をされる方へ

- ◎この「工事説明書」をよくお読みになり、正しく施工してください。
- ◎工事完了後、試運転をして異常がないことを確認して、お客様に使用方法・点検について十分に説明してください。
- ◎この「工事説明書」は「取扱説明書」と一緒に必ずお客様にお渡しください。

もくじ

1 はじめに	1	5 試運転	11
2 安全上のご注意	2	警報器の点検	11
3 開こん	4	機器停止の点検	12
取付目安の確認	4	6 お客様への確認	13
梱包部品の確認	4	警報ユニットの説明	13
4 設置	5	お客様への周知	13
交換期限日の記入	5	7 仕様	14
機器の組み立て	5		
機器の取り付け	8		
電気配線の施工	9		

1 はじめに

- この不完全燃焼警報ユニット（以下、警報ユニット）は一酸化炭素（以下、CO）を検知し、規定のCO濃度に達したときに燃焼機器を停止させ警報を発する装置です。
- 不完全燃焼によるCO発生を未然に防止する装置ではありません。
- COによる損害を防止することを保障するものではありません。
COなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- この警報ユニットにCOが到達しない場合は、警報機能が働きません。
工事説明書をよくお読みになり、適切な場所に取り付けてください。
- ガス漏れや火災の発生は検知しません。
- この警報ユニットは、施設園芸用です。他の用途には使用しないでください。
- 廃棄について
交換時期になり、新しい警報器と交換・設置される場合は、販売店が古い警報器を回収いたします。
ご自分で廃棄される場合は、本体と電池*を分別して一般の不燃ゴミとして廃棄できます。
廃棄方法は各自治体の指示に従ってください。
※この製品に使用している電池は「一次電池（リチウム電池）」です。

NEPON

038191000

2 安全上のご注意

■この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しく施工してください。

■ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容ですので必ず守ってください。

表示と意味は、次のようになっています。

 危険 (DANGER)	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示します。
 警告 (WARNING)	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意 (CAUTION)	誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、業務用施設や栽培物および動植物に関わる拡大損害を意味します。

図記号の意味は、次のようになっています。

 注意	注意（危険、警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。
 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、○の中や近くに絵や文章で示します。
 必ず行う	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。

ネポン指定以外の部品などの 取り付けについて

ネポン指定以外の部品などの取り付けおよび使用は、製品の性能を損ねる改造行為となります。改造を行った場合、当社は保証期間内でも製品に関する一切の責任は負いません。ネポン指定以外の部品などの使用による事故、機器の故障およびその他のトラブルなどは、すべてお客様の責任の範囲で処置いただくこととなります。

警告 (WARNING)

 分解禁止	分解・修理・改造はしない 事故のおそれがあります。	 火気禁止	ライターやたばこの煙などを使って動作確認しない 火災や故障のおそれがあります。
 禁止	警報ユニットを落下させるなど、衝撃を与えない けがや故障のおそれがあります。	 必ず行う	燃焼排ガス中のCO検知専用として使用する COを検知できなくなります。
 禁止	都市ガス、LPガスのガス漏れ検知には使用しない COを検知できなくなります。	 必ず行う	専用リチウム電池のコネクターは確実に差し込む 差し込みが不十分な場合、発熱や火災のおそれがあります。
 禁止	専用リチウム電池の充電はしない この製品に使用している電池はリチウム電池（一次電池）です。 充電すると液もれ、発熱、破裂、発火につながるおそれがあります。	 禁止	AC100～200V（50/60Hz）の電源以外は使用しない 感電や火災のおそれがあります。
 必ず行う	燃焼機器1台に対して警報ユニット1台を使用する COが発生した場合に警報ユニットが強制停止できる燃焼機器は1台です。	 必ず行う	機器の設置工事・電気工事・試運転は、必ずお買い上げの販売店または工事業者が行う 施工不備があると感電や火災、事故などのおそれがあります。

警告 (WARNING)



禁止

取付期限を過ぎた不完全燃焼警報ユニットは取り付けない

正常に作動しないおそれがあります。
取付期限は梱包箱に記載してあります。



禁止

窓や扉の近くなど、不完全燃焼ガスの濃度が一定ではない場所には取り付けない
COを検知できなくなります。



禁止

燃焼機器の温風吹き出し口の近くなど、高温になる場所に取り付けけない

誤動作、機器故障や製品寿命を損なうおそれがあります。



水ぬれ禁止

農薬や水がかかる場所に取り付けけない
感電、機器故障や製品寿命を損なうおそれがあります。



禁止

ほこりの多い場所に取り付けけない

火災や感電、故障のおそれがあります。

注意 (CAUTION)



必ず行う

工事説明書をよく読む

安全な正しい工事方法を知るために、この工事説明書をよく読んでください。



ぬれ手禁止

ぬれた手で操作しない

感電のおそれがあります。



禁止

警報ユニットの前に物を置いたり、取り付けたりしない

警報が遅れるおそれがあります。



禁止

警報ユニットに耳を近づけて警報音を聞かない

聴力障害などを起こすおそれがあります。



禁止

垂直面以外の壁や天井などには取り付けない

けがや故障のおそれがあります。



禁止

不安定な場所に設置しない

けがや故障のおそれがあります。



禁止

高湿度の場所に設置しない
漏電のおそれがあります。



必ず行う

工事するときは、元電源（ブレーカーなど）を切る

感電や故障のおそれがあります。



禁止

機器内部や制御盤内の配線部には手を触れない

感電やけがのおそれがあります。

3 開こん

取付目安の確認

■梱包箱に表示されている「取付目安」の期限内であることを確認してください。



梱包銘板

梱包部品の確認

梱包されているもの

■次の部品があることを確認してください。

警報ユニット本体

専用リチウム電池



取扱説明書
(別冊)
引き渡し時にお客様
にお渡しください



工事説明書
(本書)

お客様に用意していただくもの

■警報ユニットを取り付けるねじ(呼び径M5ねじ、または呼び径5.1の木ねじ)を2本ご用意ください。製品には付属していません。

4 設置

お知らせ

●この警報器の交換期限は、取り付け後3年です。

交換期限日の記入

1 交換期限シールに、交換期限を記入する

取り付け日から3年後の同月を油性ペンで記入してください。

2 保護シールを貼る

ラミネート紙の裏紙をはがして、記入部を保護してください。



例
取り付け日：2016年9月
↓3年後
交換期限：2019年9月

機器の組み立て

お願い

- コネクターの接続にドライバーなどを接続しないでください。
コネクタが破損したり、電池がショートするおそれがあります。
- 専用リチウム電池の外装フィルムははがさないでください。
外装フィルムは電池を保護する役目をしています。
- コネクタには極性があり、逆向きには接続できません。
- リード線の赤 (+) と黒 (-) の向きを間違えないように、確実に差し込んでください。

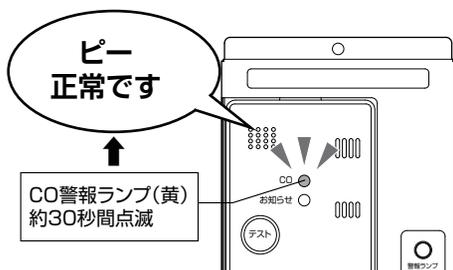
警報器にリチウム電池を取り付ける

1 プラスドライバーでねじ(2本)をゆるめて、電池カバーを外す

2 専用リチウム電池(同梱品)のコネクタを警報器に接続する

◎専用リチウム電池の外装フィルムは、はがさないでください。

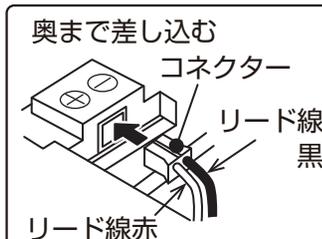
◎専用リチウム電池のコネクタを接続すると、CO警報ランプ(黄)が約30秒間点滅した後、「ピー、正常です」とお知らせします。



3 電池収納部に電池をはめ込んで取り付ける

1 電池カバー

2



3

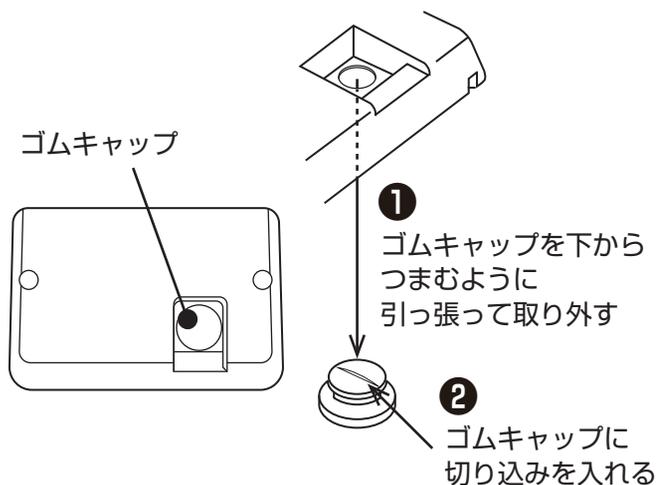
専用リチウム電池
(同梱品)

電池収納部

警報器の取り付け

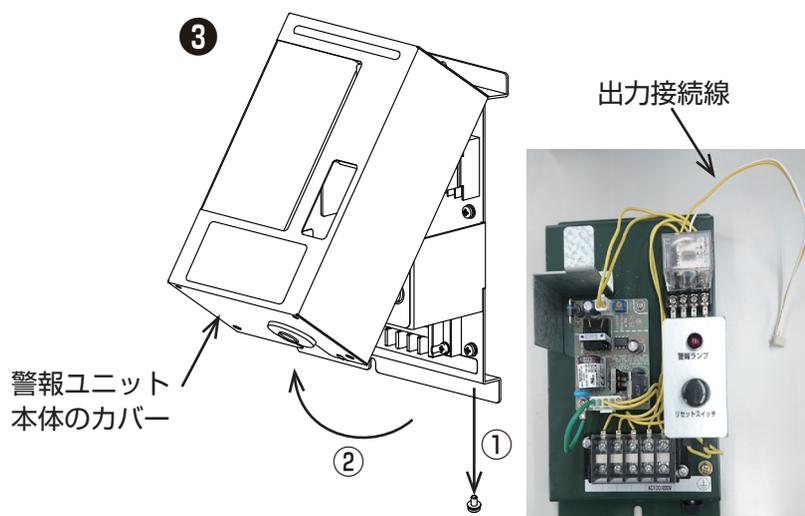
① 電池カバーからゴムキャップを取り外す

② ゴムキャップ中心部に、カッターなどで、出力接続線を通す5mm程度の切り込みを入れる



③ 警報ユニット本体のカバーを外し、出力接続線を取り出す

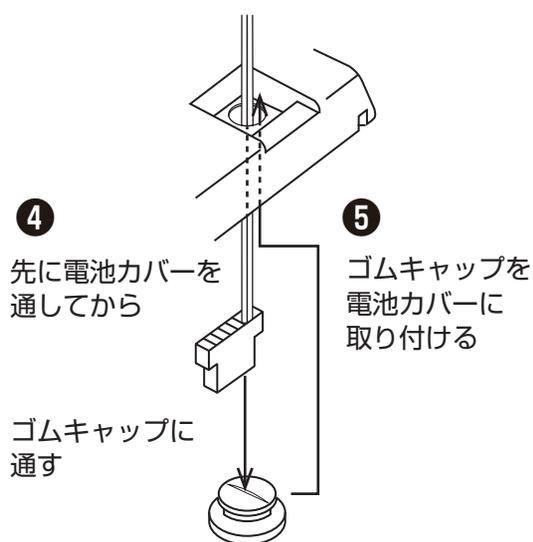
- ① 警報ユニット本体のカバー下部にあるねじを外します。
- ② カバーを上へ傾け外します。



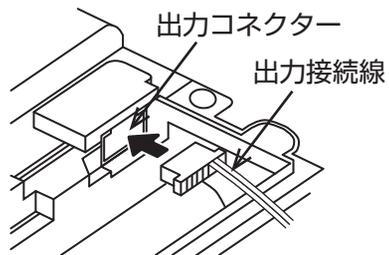
④ 出力接続線のコネクタを電池カバーの穴に通してから、ゴムキャップに通す

⑤ 電池カバーに出力接続線を通したゴムキャップを取り付ける

ゴムキャップの向きに注意してください。

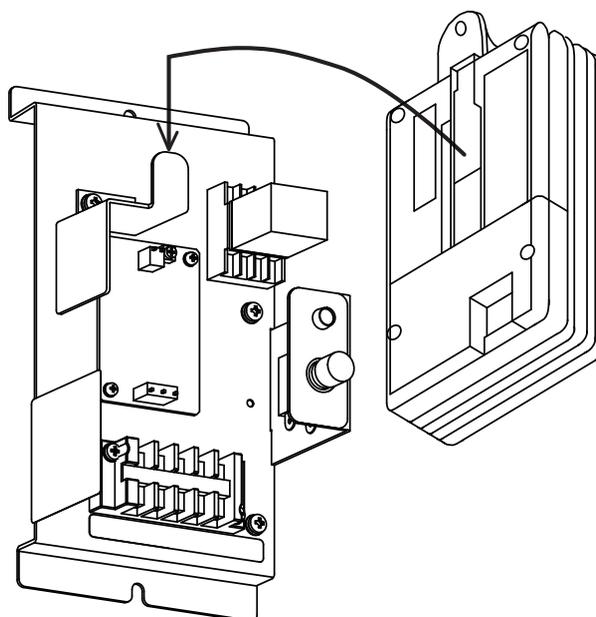


⑥ 警報ユニット本体の出力接続線を警報器の出力コネクタに接続する



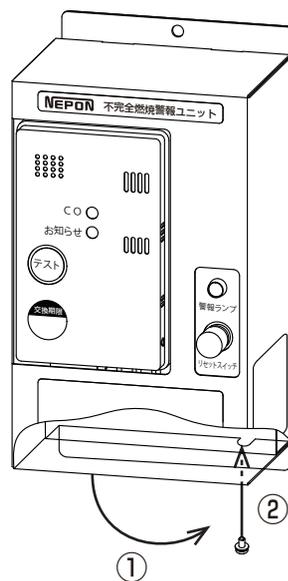
⑦ 電池カバーを元通りに取り付ける

⑧ 警報ユニット本体の警報器取付金具に差し込む



⑨ 警報ユニット本体のカバーを取り付ける

配線を警報ユニット内に収め、**③**の①②と逆の手順で取り付けてください。



機器の取り付け



取付期限を過ぎた不完全燃焼警報ユニットは取り付けない

正常に作動しないおそれがあります。
取付期限は梱包箱に記載してあります。

窓や扉の近くなど、不完全燃焼ガスの濃度が一定ではない場所には取り付けない
COを検知できなくなります。

燃焼機器の温風吹き出し口の近くなど、高温になる場所に取り付けない
誤動作、機器故障や製品寿命を損なうおそれがあります。

農薬や水がかかる場所に取り付けない
感電、機器故障や製品寿命を損なうおそれがあります。

ほこりの多い場所に取り付けない
火災や感電、故障のおそれがあります。

取り付け位置の確認

■取り付け位置は、お客様とよく相談して選定してください。

正しい取り付け位置について

■以下の位置に取り付けてください。

- ・COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内
- ・COが滞留しやすい位置
- ・お知らせランプ（緑）の確認しやすい位置
- ・点検が容易にできる位置

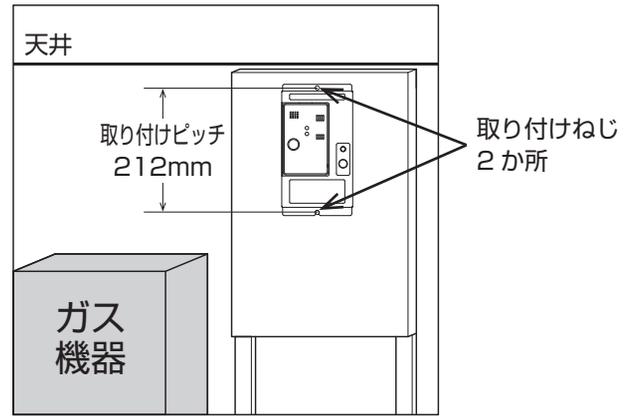
取り付けてはいけない場所について

■以下の位置には取り付けないでください。

- ・水や薬剤が直接かかる場所
故障の原因になります。
- ・排気筒（煙突）などの高温になる場所
故障の原因になります。
- ・換気扇、給気口、ドア付近などの風通しの良い場所やすきま風の入る場所
警報が遅れたり検知できないおそれがあります。
- ・燃焼機器と警報器の間がカーテンなどで仕切られた場所
警報が遅れたり検知できないおそれがあります。
- ・燃焼機器の排気、湯気などの蒸気が直接かかる場所
センサーの寿命が短くなったり誤報の原因になるおそれがあります
- ・振動、衝撃の激しい場所
センサーの故障の原因になります。
- ・温度が0 ~ +50℃の範囲を超える場所
警報器として機能しないことや誤報の原因になるおそれがあります。
- ・屋外
屋内専用です

取り付け方法

- 人の頭より高い位置に取り付けてください。
一酸化炭素は軽いため、上のほうに溜まります。
早い時期に不完全燃焼を検知できるように、なるべく高い位置に取り付けてください。
- 取り付けねじで壁面に取り付けてください。
緩みがないよう、しっかりと固定してください。
取り付けねじは、お客様がご用意ください。



お願い

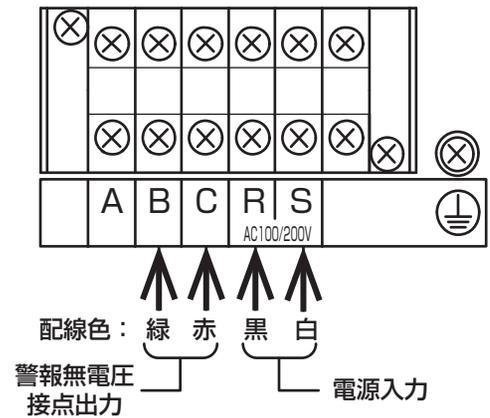
- 取り付け寸法は、「仕様」→14ページを参照してください。
- 配線およびメンテナンスのため、左右上方で50mm・下方で100mm程度のスペースを空けて取り付けてください。

電気配線の施工

COを検知したときに機器を停止させたい場合

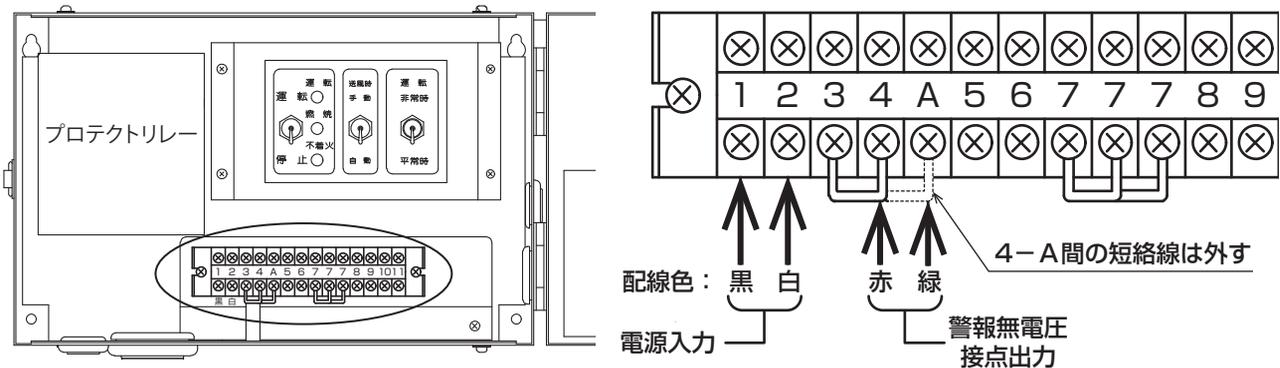
連絡配線の接続

- 警報ユニットの端子台に連絡配線を接続してください。
接続先の端子台と配線色は右図のとおりです。



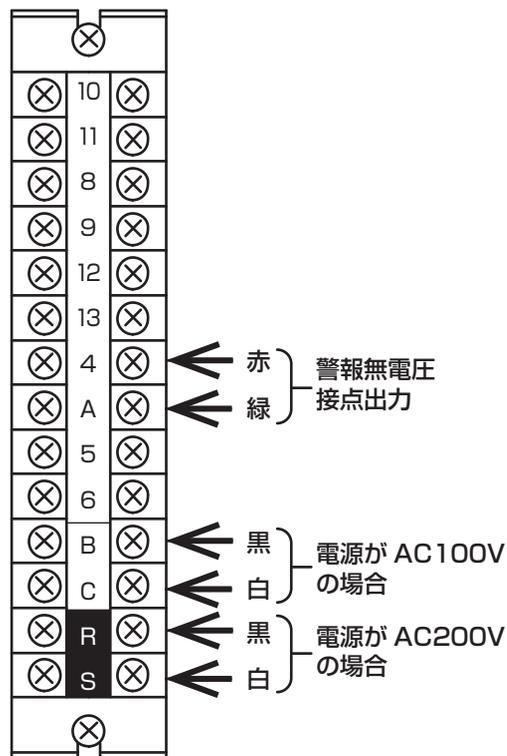
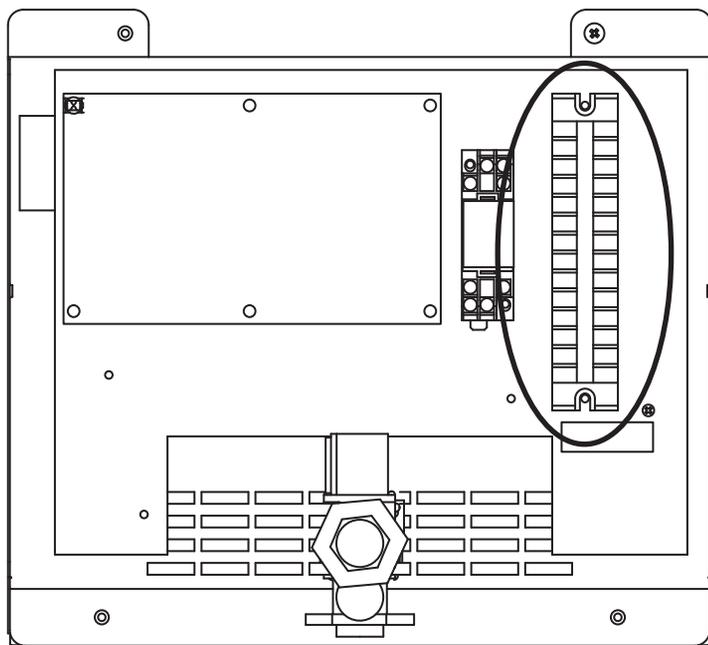
グローエアとの接続

- グローエア CG-254・554・854の場合



CG-254・554・854制御盤

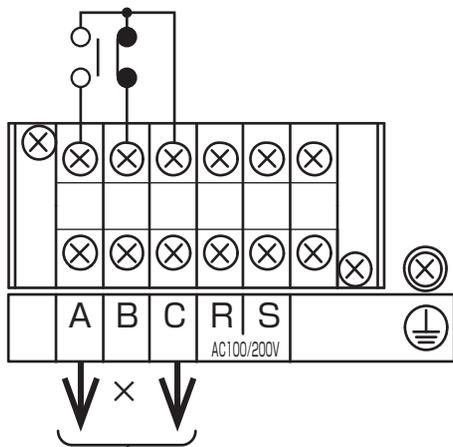
■CG-205SLの場合



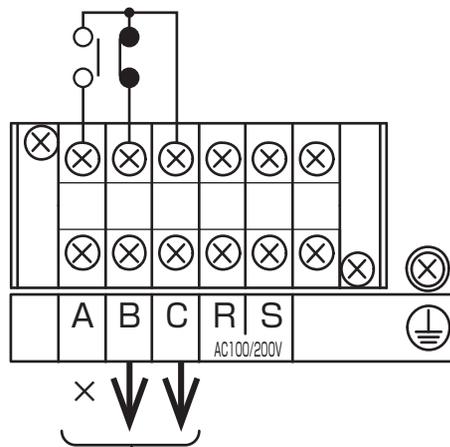
CG-205SL制御盤

COの検知をブザーやランプで知らせたい場合

■機器と接続しない場合は、外部出力の無電圧接点を使用し、ブザーを鳴らしたり、ランプを点灯させたりすることも出来ます。(接点容量 AC250V/5A)



COを検知したときに、
無電圧a接点出力を使用したい場合は、
A-Cに接続してください



COを検知したときに、
無電圧b接点出力を使用したい場合は、
B-Cに接続してください

5 試運転

お願い

- 取り付けが完了したら、お客様と一緒に必ず試運転をしてください。その際は、この工事説明書に沿って、説明してください。

警報器の点検

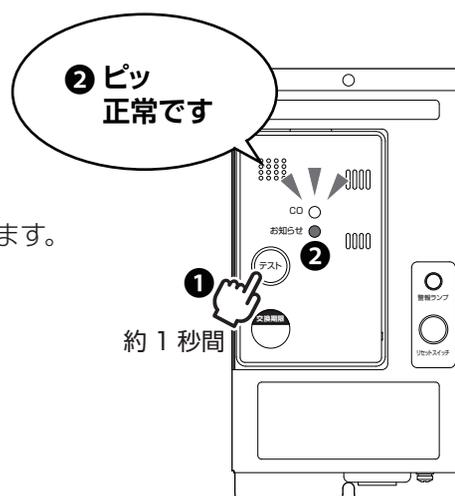
■テストスイッチを約1秒押して、正常に作動するか点検してください。

①  を約1秒間押す

「ピッ」と鳴った直後に離します。

② 警報音とランプ表示を確認する

- 「ピッ 正常です」と鳴り、同時にお知らせランプ（緑）が点灯します。
⇒点検は正常に終了しました。そのままお使いください。



お願い

-  を3秒以上押さないでください。
- 3秒以上押してしまった場合「機器停止の点検」の動作となります。
→12ページ「機器停止の点検」参照

機器停止の点検

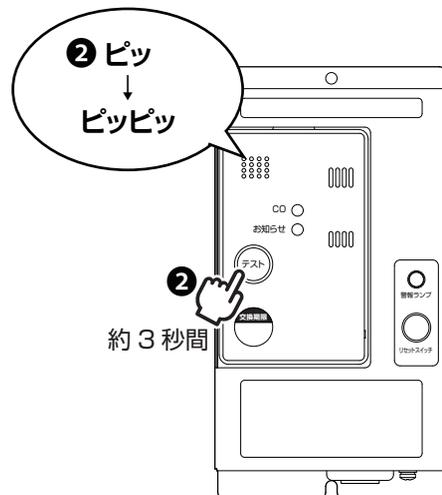
- 機器を接続している場合は、以下の手順でテストスイッチを押して機器停止の点検を行ってください。
- テストスイッチを押す前に機器を動作させる必要があります。

1 接続している機器が運転しているか確認する。

運転方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。

2 (テスト) を約3秒間押す

「ピッ」と鳴った後「ピッピッ」と鳴ったら離します。

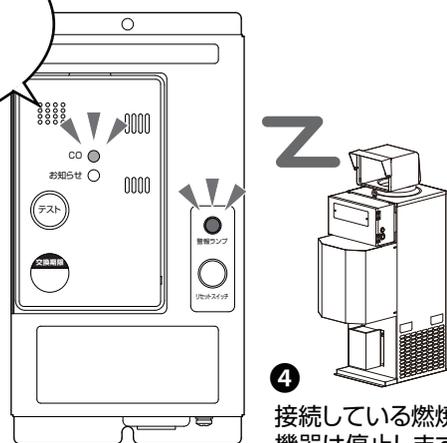


3 警報音とランプ表示を確認する

◎「ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください」
が鳴り、
同時にCO警報ランプ(黄)と
警報ランプ(赤)が点灯します。

③ ウーウーピッポッピッポッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気して
ください

4 接続している燃焼機器が停止しているか確認する



5 1分経過後(または(テスト)を押す)、点検終了音とランプ表示を確認する

◎「ピー」が鳴り、CO警報ランプ(黄)が消灯します。

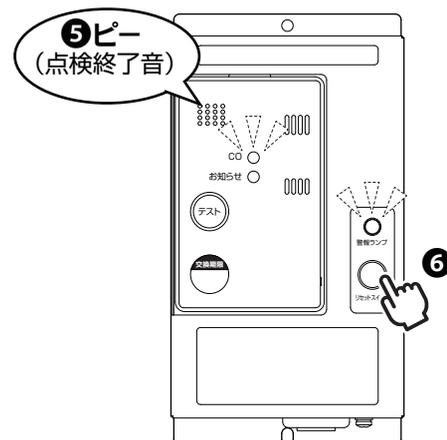
⑤ ピー
(点検終了音)

6 リセットスイッチを1回押す

◎警報ランプ(赤)が消灯します。

7 接続している機器が正常に運転するか確認する

運転方法は、各機器の取扱説明書を参照してください。



6

お客様への確認

■お客様立会いのもとでの点検が終わったら、必ずお客様に以下の説明を行いご理解を得てください。

警報ユニットの説明

No.	説明事項	チェック
1	警報動作および点検結果	
2	取扱説明書を必ず読んでいただくこと	
3	取扱説明書の保管のお願い	
4	取扱説明書に基づく主要な機能の説明と確認	
	CO警報の内容（ランプ点灯、音声の確認）と、警報時にとるべき処置	
	機器異常、電池切れが近づいたときの動作（ランプ点灯、音声の確認）と処置	
5	定期点検方法の説明	
6	誤報が発生する原因と処置	
7	電池切れの場合、電池交換ができないことの説明	

お客様への周知

No.	説明事項	チェック
1	保証期間のお知らせ	
2	警報器の交換期限のお知らせ	
3	警報ユニットの移設禁止（移設依頼時の連絡先） 連絡先（メモ）：	
4	警報ユニットの分解禁止	
5	機器異常、電池切れが近づいたとき、電池切れのときの連絡先 連絡先（メモ）：	
6	定期点検の実施について	

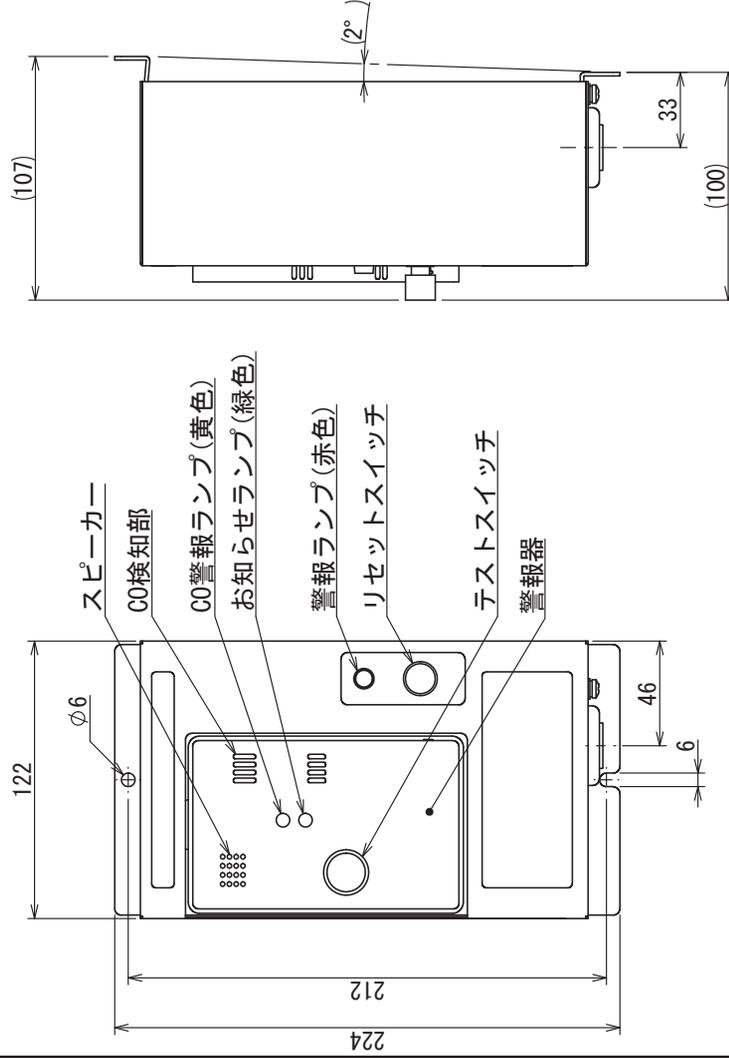
7

仕様

型式	SG-35	
対象ガス	一酸化炭素(CO)	
警報ガス濃度	50~250ppm	
検知方式	電気化学式	
警報器交換期限	取り付け後3年(※1)	
電源	AC 100V/200V 50Hz/60Hz (警報器は内蔵リチウム電池で駆動)	
消費電力	無警報時 約1W 警報時 約2W	
警報時出力	ランプ表示	C0警報ランプ(黄色)、警報ランプ(赤色)
	警報出力	音声合成音、電子音、機器停止(※2)
	外部出力	無電圧c接点(AC250V/5A)
外形寸法	H224 × W107 × D122	
質量	1.5kg	

- ※1 警報器が交換期限の3年を経過したときにお知らせします。
 警報発報：1回/月・10分、日常点検：1回/月、
 出力点検：6回/年の想定で、電池寿命は3年以上です。
- ※2 無電圧接点で機器と接続されている場合があります。

海外での使用について
 この製品は国内専用です。
 海外各国の安全規格や規制に準拠しておりません。



Lined writing area with 25 horizontal lines.

ネポン株式会社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1丁目4番2号

URL : <http://www.nepon.co.jp/>

環境に配慮した紙を使用しています。

無断転載・不許複製禁止